

かしわぎ



新宿区立柏木小学校
学校だより第341号
令和7年12月号
11月28日発行

みんなが主役の音楽会

副校長 森田 充



12月の主な行事予定

1	月	全校朝会 模擬選挙授業(6年)	SC
2	火	安全指導日 音楽会指定席抽選日	
3	水	B4 委員会(5, 6年) 卒業アルバム撮影(予備日)	
4	木	音楽朝会	SC
5	金		SC
6	土		
7	日		
8	月	全校朝会 町探検(2年) ユニセフ募金(12日まで)	SC
9	火	社会科見学(5年)	
10	水	B4	
11	木	音楽朝会	SC
12	金	柏木ライブ 新宿区学力定着度調査	SC
13	土		
14	日		
15	月	全校朝会	SC
16	火		
17	水	B4	
18	木		SC
19	金	音楽会(児童鑑賞日)	SC
20	土	A5 音楽会(保護者鑑賞日)	
21	日		
22	月	音楽会振替休業日	
23	火	たてわり班活動 大掃除(5時間目) 避難訓練(4年煙体験含む)	
24	水	B4 給食終	
25	木	B4 終業式	SC
26	金	冬季休業日始(～1月7日)	
27	土		
28	日	令和8年1月8日(木)	
29	月	(通常登校、朝あそび無し)	
30	火	B4 3学期始業式	
31	水		

12月には、ご案内の通り3年ぶりの音楽会を開催いたします。今回はコロナ禍の影響を受け、様々な制約の中で行われました。制約の無い音楽会は久しぶりです。また、私は本校での音楽会は初めてですので、楽しみにしているところです。本校では文化的行事の音楽会・展覧会・学芸会は3年に1度の周期で行われます。子どもたちにとって音楽的なもの、美術的なもの、そして演劇的なものと、様々な芸術的な表現力を発揮するチャンスが回ってきます。このような大きな行事は、学校生活に変化を与え、子どもが大きく成長する絶好の機会でもあります。そしてどんな場面で活躍できるかは、人それぞれです。今回は、多くの子どもたちが音楽会に向けた取り組みの中で成長してくれることを願っています。

話は変わりますが、今年は「2025東京デフリンピック」が日本で初めて開催されました。聴覚に障害のある方々が集うスポーツの祭典で、報道等でご存じの方も多いと思います。11月24日に私の友人が出場する種目があり、駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場に行ってきました。デフリンピック応援は初めてのことでしたので、とても楽しみにしていました。いざ会場に着いてみると、連休もあってか観客が多く、嬉しくなりました。恐らく1万人程度はいたと思います。それでも手話やジェスチャーで応援するため、声援が少なく、想像以上に静かな空間でした。

そこには、みんなでみんなを応援する暖かい雰囲気があり、9月の世界陸上同様にスポーツがもつ力に改めて感心させられました。そして選手が各々の目標に向かって失敗を恐れず挑戦する姿、それを支え応援する人々の気持ち、全てが素晴らしく、心が熱くなった1日となりました。年齢や国籍、立場の違い、障害の有無に関わらず一生懸命物事に取り組む姿勢は、人々の心に感動をもたらします。

音楽会でも、子どもたちはそれぞれの目標に向けて頑張りますので、応援をお願いいたします。輝く子どもたちの姿を楽しみにしててください。

12月の生活目標「学校をきれいにしよう」

学校での児童の様子を、HPで紹介しています。

「かしうさだより」をご覧ください。



B: 清掃なし ※予定は変更になることがあります
B4(4時間授業)…13:15 B5(5時間授業)…14:15
★SC…スクールカウンセラー在校日

音楽会—音楽で伝えよう—

文化的行事委員会

今年度の文化的行事は、音楽会。展覧会、学会会に続き、音楽による表現活動を発表します。

テーマは、「音楽で伝えよう 私たちの想い・願い・メッセージ」です。学年や学級で、どんな想いや願いを伝えたいのか話し合い、聴いてくださる皆様の心に届くよう、歌い方や演奏の仕方を考えるなど練習に励んでいます。また、音楽をつくり上げていく過程を通して、一人一人が自分の役割に責任をもち、お互いの音を聴き合いながら「合わせる」ことを意識し、実感していくことで、集団としてのまとまりも強くなっているように感じます。プログラムの最後には、全校児童 322 名での全員合唱を行います。子どもたちが大好きな曲「ツバメ」を歌って踊り、柏木小学校自慢の大切な「校歌」を歌います。全校児童の歌声から、子どもたちの豊かな感性やエネルギーを感じ取っていただけたらうれしいです。

皆様のあたたかい拍手が、子どもたちの大きな励みになります。ご来場を心よりお待ちしております。



教科担任制について

3・4 年 国語・社会担当

本校では、3 年生以上で「教科担任制」を導入しています。その教科についての専門性の高い教員が主担当となり、学習計画を立てています。学習内容に難しさを感じている子にはより詳しく説明を加えたり、発展的な内容に関心をもった子には深く学ぶためのヒントを提示したりと、子どもたち一人一人に合った学習活動になることを目指しています。

例えば 4 年生の社会科「水害からくらしを守る」の単元では、学習のまとめ方が分岐しました。基礎コースでは、事前に考えた水害への備えをじっくり話し合いました。探究コースは水害想定訓練を行い、状況に応じた行動をその場で考えました。どちらのコースも「いつでも、どこでも、自然災害に備えることが大切だ」という結論に至りましたが、考えたり判断したりする時間に余裕があったことで、どちらのコースの子どもたちも、自分に合ったペースで学ぶことができました。

また、学級担任だけでなく多様な観点で子どもたちを見守り、共に成長を促しやすいことも、教科担任制のよさとして大切にしています。今後も学校全体で、子どもたちの成長を支えて参ります。

学びを豊かにする外部との連携

研究推進委員会

本校では、子どもたちの学びをより豊かにするために、外部との連携を積極的に進めています。各業界の方々との生の声に触れることを通して、子どもたちの社会への興味や関心を一層高めるとともに、「自分も社会の一員として関わっていききたい」という気持ちを育てています。

また、大学とも連携し、将来教育に携わりたいと学んでいる学生を受け入れています。学校現場での実践や子どもたちとの交流を通して、学生自身の教育への意欲や実践力向上につながるとともに、子どもたちにとっても新鮮な出会いとなっています。総合的な学習の時間「柏木ライブ」では、その外部連携の一端をご覧いただけます。来年 2 月にはオープンスクールも予定していますので、ぜひお越しください。

多くの大人との出会いや社会と繋がる経験を通して、子どもたちはさまざまな生き方や仕事、人との関わり方を学び、視野や価値観を広げていきます。これからも保護者地域の皆様とともに、未来を担う子どもたちにとって価値ある学びの場を築いていきたいと考えています。

縄跳び旬間について

体育的行事委員会

本校では、児童の体力向上と運動習慣の定着を目的に、1 月 15 日から縄跳び旬間を実施します。休み時間を中心に、子供たちは前跳びや後ろ跳び、二重跳びなど、それぞれの目標に向かって練習に励みます。その目標を達成した瞬間には笑顔や、歓声が広がります。また、友達同士で回数を数え合ったり、うまく跳べるコツを教えあったりする姿も見られ、お互いに励まし合いながら取り組む姿がとても印象的です。

なわとびは、持久力やリズム感を養うだけでなく、達成感を味わいやすい運動です。ご家庭でも、お子さんが意欲的に練習できるよう、励ましの声掛けをお願いします。期間中は動きやすい服装と靴で登校させてください。なわとびの長さは縄の真ん中を踏み、伸ばしたときの持ち手が胸の高さになったときにちょうどいい長さとなります。長すぎても短すぎても跳びにくくなります。

ご家庭での調整のご協力をお願いいたします。

